

- 問1 1990年から2018年にかけて、日本やアメリカの二酸化炭素排出総量が増加しているにもかかわらず、世界全体に占める両国の排出割合が減少した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国やインドといった新興国の経済発展が目覚ましく、それらの国々の排出量の伸びが日本やアメリカを大きく上回ったため。 | 2. 世界全体の人口が減少したことでエネルギー消費が抑制され、日本やアメリカの排出割合だけが特異的に低下したため。 | 3. 日本とアメリカが全ての化石燃料の使用を廃止し、再生可能エネルギーへの完全な転換を達成したため。 | 4. 欧州諸国における二酸化炭素の排出量が、日本やアメリカの増加分を補うほど劇的に減少したため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 ある地域の統計資料において、月平均気温が年間を通して30度前後で一定しており、なおかつ各月の降水量が200mmから300mmを超える非常に多い数値を示している場合、その地域の自然環境や人々の生活の説明として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 樹木が育たないため、丈の長い草が広がる草原（サバナ）を利用して牧畜を行う | 2. 乾季に備えて、地下に「カナート」と呼ばれる水路を築いて農業を行う | 3. 多種多様な常緑広葉樹が密生する熱帯雨林が広がっている | 4. わずかな夏季にのみ地表の氷が溶け、苔（こけ）類が成長する |
|---|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
- 問3 世界の茶の生産と輸出に関する統計において、2000年から2020年の間に中国の生産量は世界シェアの約19%から約45%へと急増しました。しかし、輸出量のシェアを見ると、中国の割合は生産量のシェアほど高くはありません。この理由として、中国の茶業におけるどのような背景が考えられますか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 近隣諸国からの安価な茶の輸入が増え、自国製品の競争力が低下したため | 2. 生産した茶の大部分を工業用の原料として保管しているため | 3. 自国内での茶の消費量が非常に多いため | 4. 輸向け品質管理基準が厳格化され、出荷が制限されたため |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
- 問4 ある地域の気候統計において、気温が温暖である一方で、夏季の降水量が極端に少なく、その時期にぶどうやオリーブの栽培が行われている場合、その地域の農業的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 乾燥に強い樹木作物と、冬の降水を利用した冬小麦の栽培を組み合わせている。 | 2. 一年中平均して降る雨を利用し、酪農と食料作物の栽培を組み合わせている。 | 3. 季節風による夏季の多雨を利用し、二期作による稲作を大規模に行っている。 | 4. 広大な土地に大型機械を導入し、春に種をまく春小麦の栽培を主に行っている。 |
|---|--|--|---|
- 問5 南北両半球の中緯度帯、例えば南緯40度から60度付近の地域などにおいて、一年中絶えず西から東に向かって吹いている恒常的な風を何というか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 季節風 | 2. 偏西風 | 3. 貿易風 | 4. 上昇気流 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問6 2014年における世界の二酸化炭素排出量の国別割合を調査した統計において、排出量が世界第1位（全体の28.2%）の国と、第2位（16.0%）の国の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|-------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 第1位：中国、第2位：アメリカ合衆国 | 2. 第1位：中国、第2位：インド | 3. 第1位：アメリカ合衆国、第2位：中国 | 4. 第1位：アメリカ合衆国、第2位：ロシア |
|-----------------------|-------------------|-----------------------|------------------------|
- 問7 世界の気候の法則性に基づき、南アメリカ大陸の各地における平均気温の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 平均気温の決まり方は時差と密接に関係しているため、同じ経度にある地点であれば、赤道からの距離に関わらず気温は一定である。 | 2. 緯度が高くなるほど太陽からの受熱量が増加するため、南アメリカ大陸の南端部は赤道付近よりも年間を通じて高温になる。 | 3. 標高が同程度の低地であれば、赤道に近い地点から南の端に近い地域へ移動するにつれて、一般に平均気温は低下していく。 | 4. 南アメリカ大陸においては、地形の起伏が激しいため、緯度の違いが気温に与える影響はほとんど無視できるほど小さい。 |
|---|---|---|--|
- 問8 世界のエネルギー消費に関する傾向を説明した文として、北アメリカとアフリカの状況を比較した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 人口が急増しているアフリカなどの地域は、社会全体のエネルギー総消費量とともに、一人当たりの消費量も北アメリカを上回っている。 | 2. エネルギー消費の効率化が進んでいる北アメリカなどの先進地域では、アフリカなどの発展途上地域よりも一人当たりの消費量が少なくなっている。 | 3. エネルギー資源を豊富に算出する地域ほど、その地域内での一人当たりのエネルギー消費量が多くなるため、アフリカの方が北アメリカより数値が高い。 | 4. 一般に産業化が進んだ地域ほど生活水準が高く、生産活動も盛んなため、一人当たりのエネルギー消費量は多くなる傾向がある。 |
|---|--|--|---|
- 問9 ある地域の気候統計において、1月・2月の平均気温がマイナス40度近くまで低下する一方、7月には15度程度まで上昇し、年間を通じて降水量が非常に少ないというデータが得られました。この地域の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 夏の期間のみ地表の氷が解け、コケ類や地衣類が生育するが、樹木はほとんど育たない。 | 2. 一年を通じて高温多湿であり、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため稲作が盛んである。 | 3. 暖流と偏西風の影響を強く受けるため、高緯度のわりに冬の寒さは穏やかで気温差が小さい。 | 4. 短い夏に気温が上がるため針葉樹林が広がり、木材の伐採や加工が重要な産業となっている。 |
|---|--|---|---|
- 問10 食品のパッケージに、円の中にアラビア文字や英字をあしらった独自のマークが付されていることがあります。このマークが世界各地で普及している背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 特定の地域で生産された農産物の名称を法的財産として保護し、模倣品を排除して生産者の利益を守るため | 2. イスラム教の教義に則った安全な食品であることを一目で判別できるようにし、ムスリムの多様な食生活を支えるため | 3. 先進国の消費者が途上国の生産者に対して正当な対価を支払うことで、持続可能な国際貿易を実現するため | 4. ユネスコ無形文化遺産に登録された伝統的な調理法が守られていることを証明し、観光資源として活用するため |
|---|--|---|---|
- 問11 北緯および南緯30度から60度付近の中緯度帯において、一年を通じて西から東に向かって絶えず吹いている恒常風の名称として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------------|--------|
| 1. 貿易風 | 2. 偏西風 | 3. 季節風（モンスーン） | 4. 極東風 |
|--------|--------|---------------|--------|
- 問12 世界の農産物生産統計において、ブラジル（約1億1,427万トン）とアメリカ合衆国（約9,679万トン）の2か国が世界全体の生産量の多くを占め、3位の中国（約1,572万トン）を大きく引き離している品目として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 1. 米 | 2. 小麦 | 3. 茶 | 4. 大豆 |
|------|-------|------|-------|